

意見聴き取り調査票（H28年度版）（案）

（一般社団法人福島県建設業協会・福島県総合設備協会）共用

1 総合評価方式について

- (1) 「新分野進出」の項目については、建設業の経営基盤強化の観点から重要な評価項目と考えておりますが、御意見等をお聞かせください。
- (2) 総合評価方式については、原則として金額により類型を定めております。現在の金額区分についての御意見等をお聞かせください。（標準型：2億円以上、簡易型：5千万円以上、特別簡易型：5千万円未満）
- (3) 平成28年度から「同一市町村内工事実績」の評価期間を一般土木、舗装で過去10年以内から過去3年以内に見直しましたが、このことについての御意見等をお聞かせ下さい。

2 元請・下請関係の適正化対策について

- (1) 平成27年度下請状況実地調査において、変更契約書の取り交わしがなされていない事例等がありましたが、このような状況を改善するためには、どのような取組みが有効であるとお考えでしょうか。
- (2) 平成28年度から、県発注工事において下請契約を締結する際には、法定福利費を別立てにした見積りによることを元請業者に対して求めることとしていますが、徹底されていますか。
- (3) 適切な下請契約及び変更契約締結について、貴協会では会員企業に対しどのような働きかけを行っているかお聞かせください。

3 入札不調について

- (1) 会員企業が入札への参加を見送る場合の理由として、どのようなものが挙げられるかお聞かせください。なお、パーセンテージがわかるグラフ等でお示し願います。
（理由の例）
 - ・手持ち工事が十分にある
 - ・下請業者を確保できなかった。
 - ・工期が短い。
 - ・利幅が小さい。
 - ・応札しても受注が見込めない。
 - ・現場までの距離が遠い。
- (2) 県発注の工事において、工事施工の平準化及び適正工期の設定について御意見をお聞かせください。

（裏面に続く）

4 電子入札・電子閲覧について

今年度より、農林水産部及び土木部発注の案件については全件電子入札によることとしましたが、御意見等をお聞かせください。

5 品確法等三法改正について

- (1) 建設工事の担い手の育成・確保のため、どのような取組みをされているかお聞かせください。
- (2) 契約の変更を適切かつ円滑に行うため、工事請負契約に係る設計変更ガイドラインを策定したところですが、実際の運用にあたっての御意見等についてお聞かせください。

7 その他

その他現在の県の入札制度について、御意見等があればお聞かせください。

意見聴き取り調査票（H28年度版）（案）

（福島県建設専門工事業団体連合会）

1 元請・下請関係の適正化対策について

- （1）下請契約について、当初契約及び変更契約を締結してから工事を行うことが徹底されていますか。
- （2）平成28年度から、県発注工事において下請契約を締結する際には、法定福利費を別立てにした見積りによることを元請業者に対して求めることとしていますが、活用されていますか。
- （3）昨年度から、見積書作成に資するよう業種ごとの労務費の率を県のHP上で提示していますが、省力化等の効果はありましたか。

2 作業員の確保について

作業員確保の現状と対応策についてお聞かせください。また、技能者等の不足については、どのような取組みが有効であるとお考えですか。

3 下請負業務の受注について

県外の業者と下請負業務において競合することによる影響についてお聞かせください。

4 除染について

除染作業への従事状況はいかがですか。また、専門工事業への影響等（人手が取られる等）についてお聞かせください。

5 その他

その他現在の県の入札制度について、御意見等があればお聞かせください。

意見聴き取り調査票（H28年度版）（案）

（福島県土木建築調査設計団体協議会）

1 総合評価方式について

- （1）若手技術者による応札機会を増やす観点から建築設計における配置予定技術者の経験年数評価基準の見直しを行いました。これについての御意見等をお聞かせください。
- （2）県の総合評価方式について、御意見等があればお聞かせください。

2 技術者の確保について

技術者の採用状況及び課題等についてお聞かせください。

3 入札制度について

工事に関する測量等委託業務に係る現行の入札方式について、御意見等があればお聞かせください。

4 設計等の発注について

設計等の委託業務の遂行にあたっての、当初積算、変更協議、完了検査等に係る発注者に対する御意見をお聞かせください。

5 電子入札・電子閲覧について

今年度より、農林水産部及び土木部発注の案件は全件電子入札によることとしましたが、御意見等をお聞かせください。

6 その他

その他現在の県の入札制度について、御意見等があればお聞かせください。

意見聴き取り調査票（H28年度版）（案）

（個別事業者）

1 貴社の受注状況について

- （1）公共工事と民間工事とで貴社の受注割合はどのくらいですか。
- （2）県発注工事と市町村発注工事とで貴社の受注割合はどのくらいですか。
- （3）元請としての受注と下請としての受注とでの割合はどのくらいですか。
- （4）応札を考える対象工事は主にどのような工事ですか。（発注種別、発注工種、発注金額、発注方式等）
- （5）管内を超えて応札する場合、どの程度なら応札を検討しますか。（発注金額、現場までの通勤時間、地形などの要因、工種等）
- （6）会社の規模について、今後どのようにしていく予定ですか。（拡大または維持等）
- （7）管内の仕事（県発注工事に限らず）の量や内容（災害復旧、維持補修等）について、どのような傾向にあるかお聞かせください。

2 元請・下請関係の適正化対策について

- （1）下請契約に際して、法定福利費を別立てで明示した見積書を活用していますか。
- （2）下請契約について、当初契約及び変更契約を締結してから工事を行うことを徹底していますか。

3 技術者の確保等について

- （1）従業員は何名（うち技術者数）ですか。
- （2）技術者や作業員の確保について、現状と対応策（直営で確保するか、下請けを利用するか等）についてお聞かせください。
- （3）除染作業に従事しているか、従事している場合には通常の工事との比率はどのようになっているかお聞かせください。

4 電子入札・電子閲覧について

今年度より、農林水産部及び土木部発注の案件は全件電子入札によることとなりましたが、御意見等をお聞かせください。

5 担い手の育成について

- （1）技術者の新たな採用を行っていますか。
- （2）新卒者採用として高卒を対象としていますか。

（裏面に続く）

- (3) 職員の技術力向上、就労環境改善のためにどのような取組みをされているかお聞かせください。

6 総合評価方式について

- (1) 総合評価方式については、原則として金額により類型を定めております。現在の金額区分についての御意見等をお聞かせください。（標準型：2億円以上、簡易型：5千万円以上、特別簡易型：5千万円未満）
- (2) 平成28年度から、「同一市町村内工事实績」の評価期間を一般土木、舗装で過去10年以内から過去3年以内に見直しましたが、このことについての御意見等をお聞かせください。

7 その他

その他現在の県の入札制度について、御意見等があればお聞かせください。